

第1回定例会のあらまし

平成23年第1回定例会が、2月15日から3月4日までの18日間の日程で開かれました。

この定例会では、平成23年度予算など市長提出議案105件、議員提出議案3件を審議し、討論（賛成＝無所属、市民ネット・無、公明党、民主党、新政ちば、自民党、反対＝共産党）が行われ、平成22年度千葉市一般会計補正予算など31件については、賛成多数により、千葉市職員定数条例の一部改正など74件については、全会一致により、原案どおり可決・同意しました。

また、平成23年度一般会計予算などについて、注組み替えを求める動議が提出されましたが、賛成少数により否決しました。

一方、千葉市高洲市民プールほか34施設の指定管理者の指定については、継続審査となりました。また、議員提出の千葉市中小企業振興条例制定検討委員会設置条例の制定については、賛成少数により否決。千葉市自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定については継続審査となりました。

謹んで震災被害のお見舞いを申し上げます

去る3月11日、14時46分頃に東北地方太平洋沖でマグニチュード9.0という国内史上最大規模の地震が発生しました。この大地震により東日本の広範囲にわたり、甚大な被害が発生しました。千葉市も数名の重軽症者、美浜区での液化化現象による被害などがありました。市民の皆様には、余震や計画停電などによりまして、不安な状況が続いていると思いますが、私ども千葉市議会は、96万千葉市民の日々の安全・安心のために市と一体となり努力して参ります。

改めまして、今回の大地震により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆様方のご冥福をお祈り申し上げます。

市議会としても被災地の1日も早い復旧・復興を推進していただくため、義援金を送ることとしました。今後、も災害に備えて「安全で災害に強いまちづくり」を推進するため、気を引き締めてなお一層の努力をして参る所存でございます。

千葉市議会議長

茂手木 直忠

千葉市議会議員選挙
千葉県議会議員選挙

投票日は4月10日です。

新年度予算 総額7,266億3,700万円を可決

一般会計 3,582億円
特別会計 3,001億1,200万円
企業会計 683億2,500万円

可決・同意した主な議案

平成22年度一般会計補正予算 74億6,600万円を追加

- 補正予算の主なものは次のとおりです。
- ・校舎・屋内運動場の耐震補強
 - ・道路直轄事業負担金（国道の整備）
 - ・中小企業への資金融資

子どもの医療費の助成について改正

通院医療費の助成の対象を小学校就学前から小学校3年生までに拡大するとともに、自己負担額を変更します。（平成23年8月から）

区分	改正前	改正後
通院医療費の助成の範囲	小学校就学前	小学校3年生まで
自己負担額 (通院1回・入院1日当たり)	200円	300円

土地開発公社に対する債権を放棄

土地開発公社を解散するため、公社は市への債務の返済に代えて保有土地を市に譲渡し、市は残りの債権（約103億円）を放棄しました。

市の施設などの指定管理者を指定

指定期間の終了に伴い、市内の64施設の指定管理者をそれぞれ指定しました。

副市長の選任

副市長に、藤代謙二氏を再任することに同意しました。

平成23年度一般会計予算を可決しました

予算の概要

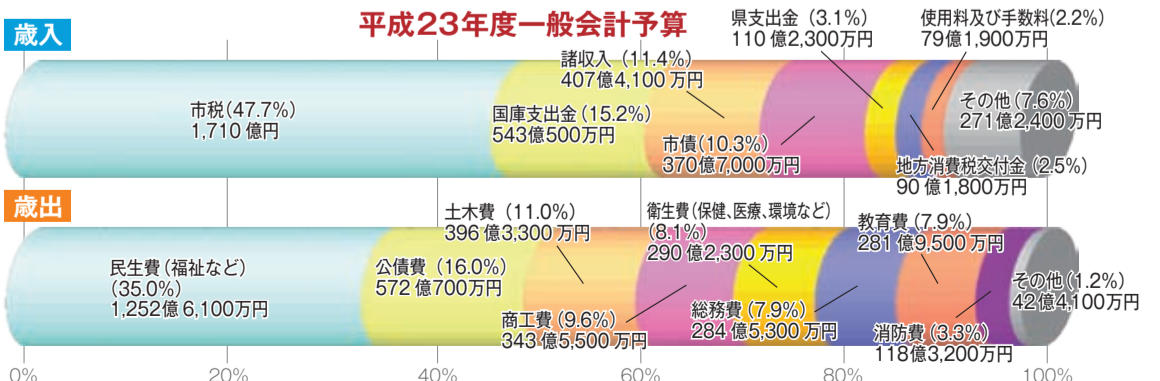
平成23年度予算は、財政再建路線を堅持し徹底した行財政改革に取り組む一方、希望の持てる地域社会を実現するため、将来の活力につながる事業を推進するとともに、高齢者・障害者・子どもなどへの施策について、きめ細やかに予算を配分した結果、前年度と比較して2.2%増の総額3,582億円となりました。

新規・拡充した主な事業

- 雇用の創出（里山の保全推進など）
- 中小企業金融対策（環境経営応援資金）
- 子宮頸がんなどのワクチン接種
- 子ども医療費助成対象の拡大
- 病児・病後児保育の施設を追加
- 適応指導教室の設置
- 特別養護老人ホームの整備
- 三世同居への支援

見直した主な事業

- （対前年度削減額）
- 高原千葉村給食事業補助金の廃止……………△2,625万円
 - 東京フィルハーモニー提携事業の休止……………△1,000万円
 - 難病疾患見舞金の廃止……………△2億4,109万円
 - ひとり暮らし高齢者などへの日常生活用具給付の内容の見直し……………△1,921万円
 - ことぶき大学の授業料など見直し……………△3,204万円



注 組み替え：提出された予算案を作り直して再提出することを市長に対して求めること（予算組み替え動議）

委員会審査・調査から

常任委員会

2月28日に開かれ、市長提出議案76件、議員提出議案2件、請願2件、陳情3件を審査しました。

その結果、市長提出議案75件は可決、1件は継続審査となり、議員提出議案は1件が否決、1件が継続審査となりました。

総務委員会(議案11件)

市職員の給料などの減額措置の継続について

問 現在、政令指定都市の中で、千葉市は最も厳しい給料の減額を実施しており、また唯一、退職手当の減額を実施している。ここまで厳しい減額を行う理由は何か。

答 本市は財政状況が非常に厳しく、実質公債費比率が政令指定都市の中で最も高いという状況から、このような措置をとった。

<その他の審査内容>

国庫補助金の決定に伴う校舎耐震補強などの補正予算、土地開発公社の解散に伴う債権放棄、病院局の設置に伴う職員定数改正など

保健消防委員会(議案22件、請願1件、陳情3件)

子宮頸がんワクチンの接種について

問 子宮頸がんワクチンの接種は強制か、それとも任意なのか。また、接種による効果は。

答 ワクチンは任意接種であり、接種については案内文の中で、副反応や効果などを周知しており、よく理解していただいた上で判断してもらう。

また、効果については国の予防接種部会の中でワクチンの評価が進められているが、十分効果が期待できると示されている。

<その他の審査内容>

空き地の雑草の除去の指導強化、若葉消防署の移転、指定管理者の指定(ハーモニープラザほか)など

環境経済委員会(議案23件、発議2件、請願1件)

女性センターの名称変更について

問 「女性センター」が「男女共同参画センター」に名称が変更され、男女共同参画の意識が広まることが期待されるが、今後の方針は。

答 男女の別なく参加できる施策を、より充実させていく。また、センターの役割で期待されていることは講座やイベントの開催が挙げられており、新たに地域に出向していく出前講座を実施していきたい。

<その他の審査内容>

幕張メッセ建設事業負担金に伴う補正予算、指定管理者の指定(中央コミュニティセンターほか)など

教育未来委員会(議案9件)

生涯学習センターの指定管理者の指定について

問 選定に当たって、市内業者の育成や雇用という点と、サービス提供者を広く民間事業者から募集することとのバランスをどのように考えたのか。

答 民間のノウハウを活用することで市民サービスの向上を図るという指定管理者制度の目的に沿って広く提案を求め、事業者を市内に限らず公募することとした。なお、市内経済の活性化を図るため、再委託先に市内業者を優先すること、率先して市民を雇用することなどを募集要項に定めた。

<その他の審査内容>

子ども医療費助成の範囲などの改正、指定管理者の指定(大宮スポーツ広場ほか)など

都市建設委員会(議案15件)

国道357号湾岸千葉地区改良について

問 登戸交差点から市役所前交差点にかけて立体化する工事が行われているが、完成時期と効果は。

答 工事の完了時期は平成26年度末を予定している。この整備により、直進車が地下トンネルを通るため交通が円滑化して渋滞が緩和するとともに、道路沿道環境も改善されると考えている。



工事が進められる国道357号

<その他の審査内容>

国庫補助金の決定に伴う舗装道補修工事などの補正予算、道路・公園などの占用料の改定、指定管理者の指定(花の美術館ほか)など

請願・陳情の結果

採択送付

保健消防委員会

- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を求める請願

環境経済委員会

- 栄町場外馬券発売場誘致促進に関する請願

不採択

保健消防委員会

- 子宮頸癌予防ワクチン接種公費助成を拙速に決定しないで頂きたいことに関する陳情(1月27日審査)
- 子宮頸癌予防ワクチン接種公費助成制度導入にあたりお願いしたい諸事項に関する陳情
- 老人福祉バス事業の存続に関する陳情

予算審査特別委員会

委員長 米持 克彦 副委員長 川岸 俊洋

平成23年度一般会計および特別会計予算議案を審査するため、2月22日に全議員で構成する予算審査特別委員会(2分科会)を設置し、分科会では、延べ33時間(計3日間)にわたり慎重に審査しました。

3月3日の予算審査特別委員会では、2分科会の審査概要について報告が行われた後、6人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計予算を原案どおり可決しました。

市長に要望した指摘要望事項

- 1 財政については**、極めて厳しい財政状況にあることから、低利な市債、民間資金への借りかえを一層推進するなど、引き続き公債費負担適正化に取り組むとともに、資産の効果的な活用や、課税客体の担税力を把握した上で徴収率の向上を図るなど、財源確保に努められたい。
- 2 公の施設の指定管理については**、業務の内容や性質を十分にしんしゃくした上で、公募の適否を判断するとともに、指定管理者の選定に当たり、一層の税源の涵養や市内事業者の育成などにも留意した選定基準や統一的な方針を設け、取り組まれたい。
- 3 文化芸術の振興については**、活動の拠点となる文化ホールなどの稼働率向上や施設の有効活用に取り組むとともに、必要な予算の確保に努め、文化のすそ野の拡大につながるよう施策を展開されたい。
- 4 高齢者福祉施設については**、依然として入所待機者が多いことに加え、今後も急速な高齢化の進展が見込まれることから、学校統廃合に伴う跡地を積極的に活用するなど、地域の実情に応じた施設整備を図り、入所待機者の早期解消に努められたい。
- 5 待機児童の解消に当たっては**、保育の質の低下を招かぬよう留意しながら、定員変更、分園設置や幼稚園の活用などの方策を講ずるとともに、各地域の保育需要を的確にとらえ、さらなる施設整備の推進を図られたい。
- 6 新港横戸町線については**、一部区間における渋滞により、利用者の利便性が低下していることに加え、消防緊急車両の出勤にも支障が生じていることから、信号機のタイミング調整を県警と協議するなど、渋滞の解消に向け、早急な対応を図られたい。

「都市活性化に関する提言書」の提出

都市活性化対策調査特別委員会では、蘇我特定地区をはじめ臨海部の開発・整備に関する事項、中心市街地の活性化に関する事項などの諸問題について、これまでの調査結果を提言書に取りまとめ、3月7日、市長に提出しました。提言の内容は、市議会ホームページをご覧ください。

「ちば市議会だより」発行委員会
よりよい紙面作りのため、ご意見・ご要望をお寄せください。
委員長 奥井 清蔵
副委員長 今村 憲興
委員 盛田 敏昭
問い合わせ先 議会事務局調査課
043(245)5472

お知らせコーナー

傍聴のご案内

本会議、常任委員会、特別委員会は原則公開していますので、どなたでも傍聴できます。第1回定例会では296人の方が傍聴に訪れました。

平成23年第1回臨時会は5月16日(月)に、第2回定例会は6月9日(木)に開会する予定です。

受付は、原則として会議開催の30分前から議会棟1階の傍聴受付カウンターで行います。定員は本会議92名(先着順)、委員会6~10名(受付開始時点で定員を超えている場合は抽選)です。

千葉県議会ホームページのお知らせ

本市議会のホームページでは、会議日程や会議結果、市議会のしくみなどを掲載しています。また、本会議や予算・決算審査特別委員会の様子が生中継や録画放映によりご覧になれます。お仕事などで市議会を傍聴できない方はこちらをご覧ください。

ホームページアドレス
<http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html>

